

# 鹿部町地域おこし協力隊通信

## 地域おこし協力隊 山田 和恵 隊員



去る6月1日、コミュニティカフェ担当を拝命しました。

札幌市から鹿部町に来ましたが、道南の木古内町・函館市に住んだ事もあります。

今まで24年間、医療・介護の仕事をしてきました。その中で50歳の節目に12年間勤めた病院勤務（看護助手）を辞め一人、ニュージーランドに2か月間行きました。東日本大震災があった年です。50歳の節目もありましたが、単純な発想で英語圏に行けば英語が話せるようになると思っての行動でした。金銭的に余裕が無い事と、幸い馬に乗れたので馬に乗る仕事を手伝いホームステイでの生活です。帰国後は介護の仕事に就きましたがニュージーランドの思い出が良すぎて帰国した年の12月に再訪し馬・牛・羊などの仕事を手伝いながら5か月間過ごしました。食事は毎日目になっている牛や羊を食べます。命を頂くことを目の前で見てきました。牛の搾乳が出来るようになった事が少し自慢です。季節は日本の北半球とは逆で、日本が冬の時期に行ったので春から初秋の頃でした。真夏のクリスマスも経験しました。後、再訪する機会がないままコロナ禍になり、英語圏に行きましたが英語が話せるようにはなりませんでした。

帰国後は再度介護の仕事に就きました。その間、保育園で2年、ホテルで2年の経験があります。思い立ったら行動するタイプです。鹿部町とは縁があり、勤務したホテルが鹿部ロイヤルホテルでした。冬季間は京都の宮津市（天橋立があるところ）のロイヤルホテルでの勤務でした。保育園とホテルの経験をきっかけに、保育士と調理師の資格も取ることが出来ました。京都に行って思ったこと、魚介類は北海道が一番と思っていましたが京都の北部、宮津湾では北海道には無い魚を目にしました。その土地で取れるものが、一番美味しい物ですね。

鹿部町に来て、ちか釣りや山菜取りも楽しいのですが、今一番の楽しみは町内のお店に行く事です。その日捕れた新鮮な魚や貝類などがあって、しかも鹿部産！どんな魚が並んでるかな～？と、わくわくしながらお店に行きます。

もう一つの楽しみは温泉です。温泉では町の人と話をする機会も増え、皆さんのやさしさを感じました。

今後、「コミュニティカフェ」では町民の皆さんが楽しく集まれる場所を作って行きたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

皆さんの声を聴きながら色々なイベントを考えていきます。

イベントが無くても児童館は開いていますので、お一人でも、お友達と、お母さんたち、お父さんたちの“たまり場”にしてください。

～～ お待ちしています ～～

## 『語らい町長室』が利用しやすくなりました！

従来の来庁していただく方法に、『語らいオンライン町長室』と『語らい出前町長室』を加え、より利用しやすい環境を整えました。

また、開放予定日に限らず、公務などが入っていない日には、可能な限りご対応させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

なお、ご利用を希望される方は事前にお申し込みください。

■令和4年8月の開放予定日 8月24日（水） 午前9時から午後7時まで

※お問い合わせ先 役場総務・防災課（Tel：7-2111）